

### 大学入学共通テスト いよいよ出願が始まります

9月3日(木)に「令和3年度 大学入学共通テスト」を受験する3年生を対象に、出願方法や試験に関する説明会を行いました。昨年度まで通称「センター試験」と呼ばれていた試験で、令和3年度大学入学選抜から名称が変更になりました。試験内容も一部変更になりました。主な変更点は以下の通りです。

	(変更前)		(変更後)
1 数学①の試験時間	60分	→	70分
2 英語のリスニングの配点	50点	→	100点
3 英語のリーディングの配点	200点	→	100点

最も注目すべき点は、リーディングとリスニングの配点比が1:1になったことでしょうか。昨年度までは英語筆記と英語リスニングの配点比が4:1(200点:50点)でしたから、リスニングよりも筆記を重視する必要がありました。しかし、大学入学共通テストからは、リスニングの重要度が高くなったと言えます。

大学入学共通テストは令和3年1月16日・17日の2日間で実施されます。試験まで113日(9月25日現在)です。5教科受験する場合は、1教科あたり約22日ということになります。

悲観する必要はありません。まだ「22日」もあると前向きに捉えてください。

必要なことは一日一日、一瞬一瞬を大切にすること。授業、講習、模擬試験。一つ一つ丁寧に、真摯に、ひたむきに取り組むこと。現状を前向きに捉えて努力する。それだけです。

健闘を祈ります。

(写真は大学入学共通テスト説明会の風景)



### 1・2年生 進研7月記述模試の結果が出ました

7月4日(土)に行われた記述模試の結果がリリースされました。個人成績票が配付されたので、自分の成績を確認してください。模擬試験の結果が返却されて、一喜一憂して終わり、という人が多いのではないのでしょうか?

模擬試験で最も重要なのは受験の「事後」です。

7月の記述模試は1教科100点満点ですが、国数英3教科合計で100点未満の生徒が大半です。

だから、「できなかったところをできるようにすること」が最も重要です。部活動も同様です。

自分がやりたいこと、好きなこと、得意なことを一生懸命やるのが「努力」ではありません。

**自分がやりたくないこと、嫌いなこと、苦手なことに真摯に取り組むことが「努力」です。**

だから、できなかった問題をきちんと時間をかけて見直してください。

「どのように勉強していいかわからない」という人がいますが、その答えはシンプルです。

考査や模試でできなかった問題を徹底的に見直すことです。

どのくらいかって?次に同じ問題を目にしたら、完璧にできるまでです。

そのためには、気の遠くなるような時間と労力を要します。手軽に、効率的に成長できる「近道」はありません。

つらく険しい道です。でも、周囲には支えてくれる先生方や仲間がいます。健闘を祈ります。

# 1 学年進路講演会

9月15日（火）に1学年進路講演会を実施しました。外ヶ浜町職員の小野稚奈さんと、NHK青森「アップルワイド」でキャスターを務めている千葉真由佳さんを講師に招き、働くことの意義、現在の仕事のやりがいや、高校1年生でやっておくべきことについて講演していただきました。講師が本校卒業生ということもあり、1年生は真剣に聴講していました。高等学校卒業後の進路が進学、就職のいずれにしても、みなさんは近い将来に社会の一員として働くことになります。小野さんは本校卒業後に公務員になり、千葉さんは本校卒業後に大学に進学しましたので、多様な進路志望を持つ北高生にとって、大変有意義な講演だったと思います。

お二人の講演で共通していたことは、「勉強することの大切さ」です。高校1年生の今、しっかりと勉学に励み力を蓄えておくことで、自分の可能性を大きく広げることができます。それは「今」の可能性のことだけではありません。

この度のコロナ禍で、明白になった事実があります。それは「やりたいことを仕事にしても、危機に対応できるかどうかはわからない」ということです。新型コロナウイルスの影響で仕事を失った人は、東北地方では見込みも含めて4700人に上ったことが厚生労働省のまとめでわかりました。勉強は人が成長するためにするものです。では、なぜ成長しなければならないのか。その答えは簡単です。それは「生き延びるため」です。生き延びる確率を高くするために勉強して成長する。だから、職業選択において「やりたいこと」だけを考えるのではなく、どんな危機でも「生き延びることができるのか」という視点も持ってほしいと思います。



小野 稚奈 さん



千葉 真由佳 さん



## 進路コラム

### 労働とは？

みなさんに質問です。腹一杯になった肉食動物は狩りをするとおもいますか？

野生のライオンを想像してみてください。おそらく獲物が近くを通っても、腹一杯の状態であれば決して狩りを行ったりはしません。

この機会に何頭か獲物を取り置きしておいて、別の群れに譲ろうと考えたり、数ヶ月先の食糧不足に備えたりするライオンなんていません。肉食動物は腹一杯になれば眠くなって寝るだけです。

つまり、肉食動物（を含むほとんど全ての動物）は必要以上のことはしないということです。

しかし、人間は違います。人間だけが「必要以上のこと」をします。それが労働です。

ただし、ある条件を満たさなければ労働とは言えません。その条件とは「他者の存在」です。

あなたが地球で唯一生存する人間だとして、どんな病気も治すことができる万能薬を開発しても、それは「労働」とは言えません。

なぜなら、それを受け取る「他者」が存在しないからです。労働は、その労働によって生み出された「何か」を受け取る他者がいて、はじめて成立します。だから、職業を選択する場合には、自分がやりたいこと、自分が好きなことだけを判断材料にするのではなく、「他者」の存在も考えてみてください。あなたが労働して生み出した「何か」を受け取る「他者」の存在を考えることによって、「自分には何ができるのか」という新しい視点から自分自身を見つめ直すことができるようになります。

今のあなたには、何ができますか？